

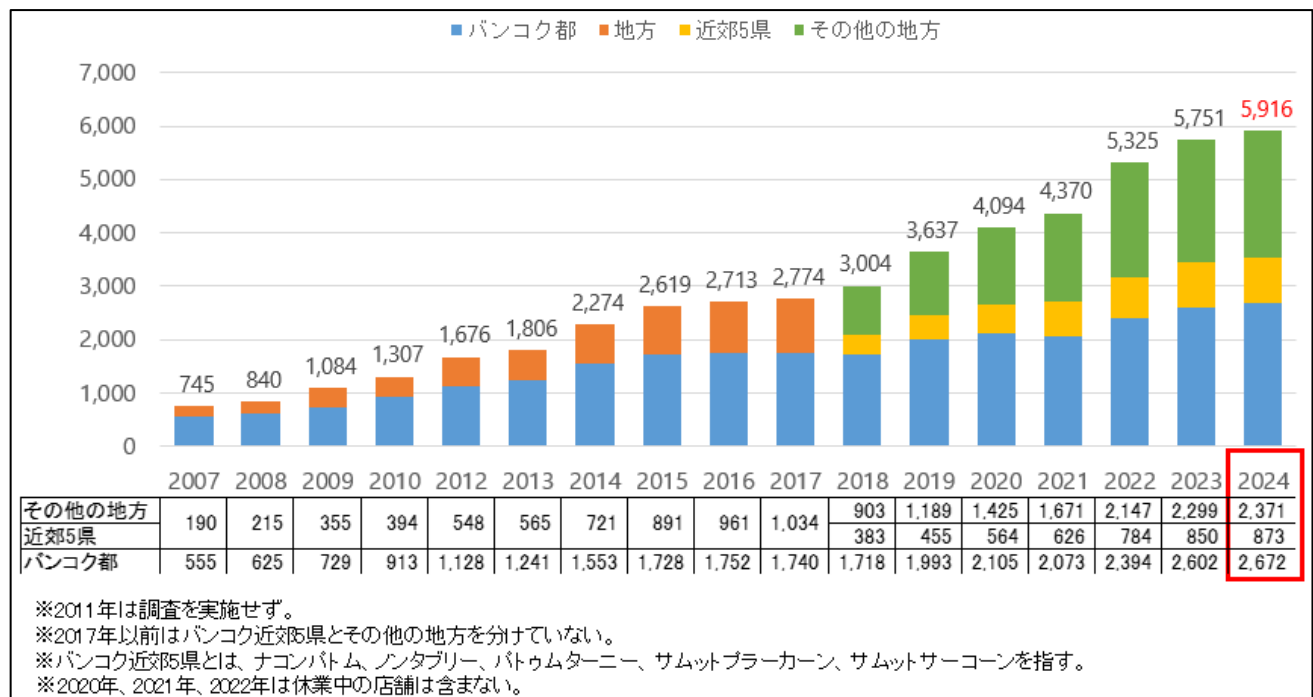
2024 年のタイの日本食レストランは 5,916 店舗
前年から 2.9%増加したが、競争激化により伸びは鈍化

1 月 8 日（水）、日本貿易振興機構（JETRO）バンコク事務所は「2024 年度タイ国日本食レストラン調査」の結果を発表した。

バンコク、バンコク近郊、地方ともに店舗数が増加。

2024 年の日本食レストランの店舗数は 5,916 店舗と、前年の 5,751 店舗から 165 店舗、2.9%増加した。地域別では、バンコク 2.7%、バンコク近郊 5 県 2.7%、その他の地方 3.1%、いずれにおいても店舗数が増加した。

図：タイにおける日本食レストラン数の推移（単位：店舗）



業種別の店舗数のトップは総合和食、次いで寿司。ただし、寿司は減少傾向。

業種別に見ると店舗数の増加率が高かったのは、蕎麦/うどん、喫茶、居酒屋だったが、2020 年から 2023 年まで店舗数がトップであった寿司は、6.8%減少し 1,279 となり、総合和食の店舗数 1,439 を下回った。

寿司の店舗数が減少した要因について関係者は、近年リーズナブルな価格で質の高い寿司店が増えたことによって、消費者が求める寿司に対する質が全般に引き上げられ、これら価格帯で勝負していた店舗での競争によるためではないかと話す。

表：業種別店舗数まとめ（単位：店舗、増減率＝％）

| 業種 | 2022 | 2023 | 2024 | | | |
|-----------|-------|-------|-------|-----|-------|--------|
| | | | 増加 | 減少 | 合計 | 増減率(%) |
| 総合和食 | 1,273 | 1,354 | 213 | 128 | 1,439 | 6.3 |
| 寿司 | 1,431 | 1,372 | 181 | 274 | 1,279 | -6.8 |
| ラーメン | 611 | 741 | 157 | 96 | 802 | 8.2 |
| 居酒屋 | 369 | 437 | 102 | 59 | 480 | 9.8 |
| すき/しゃぶ | 386 | 453 | 70 | 75 | 448 | -1.1 |
| 焼肉 | 341 | 417 | 70 | 54 | 433 | 3.8 |
| 喫茶 | 278 | 291 | 100 | 62 | 329 | 13.1 |
| 井専門 | 167 | 169 | 31 | 38 | 162 | -4.1 |
| カレー/オムライス | 141 | 158 | 20 | 22 | 156 | -1.3 |
| 総合洋食 | 129 | 144 | 19 | 12 | 151 | 4.9 |
| 揚げ物専門 | 123 | 136 | 31 | 18 | 149 | 9.6 |
| 鉄板焼き | 55 | 48 | 8 | 4 | 52 | 8.3 |
| 蕎麦/うどん | 21 | 31 | 7 | 2 | 36 | 16.1 |
| 合計 | 5,325 | 5,751 | 1,009 | 844 | 5,916 | 2.9 |

（備考）※ 減少には、閉店した店舗、恒久的なデリバリーへの業態変更、メニュー変更、座席具備除外等により対象外となった店舗が含まれる。
 ※2022年は休業中の店舗を含まない。
 ※増減率は増加率が高い順に濃い緑色で表示。

客単価別では、1,000 パーツ超の店舗数が大きく増加

客単価別に見ると、店舗数が多い順では 101～250 パーツ（2,057 店舗）、251～500 パーツ（1,401 店舗）、100 パーツ以下（749 店舗）、501～1,000 パーツ（681 店舗）、1,000 パーツ超（270 店舗）となった。増減率は 1,000 パーツ超が 13.9%と最も高かった。

表：客単価別内訳（地域別）

| 客単価 | 2023年 | | | | 2024年 | | | | 増減率(%) | | | |
|--------------|-------|-------|-----|--------|-------|-------|-----|--------|--------|------|-------|--------|
| | 全国 | 地域別 | | | 全国 | 地域別 | | | 全国 | 地域別 | | |
| | | バンコク | 近郊 | その他の地方 | | バンコク | 近郊 | その他の地方 | | バンコク | 近郊 | その他の地方 |
| 100パーツ以下 | 691 | 187 | 127 | 377 | 749 | 208 | 155 | 386 | 8.4 | 11.2 | 22.0 | 2.4 |
| 101～250パーツ | 2,040 | 892 | 340 | 808 | 2,057 | 867 | 358 | 832 | 0.8 | -2.8 | 5.3 | 3.0 |
| 251～500パーツ | 1,333 | 694 | 181 | 458 | 1,401 | 738 | 185 | 478 | 5.1 | 6.3 | 2.2 | 4.4 |
| 501～1,000パーツ | 690 | 451 | 83 | 156 | 681 | 452 | 83 | 146 | -1.3 | 0.2 | 0.0 | -6.4 |
| 1,000パーツ超 | 237 | 198 | 10 | 29 | 270 | 224 | 13 | 33 | 13.9 | 13.1 | 30.0 | 13.8 |
| 確認できず | 760 | 180 | 109 | 471 | 758 | 183 | 79 | 496 | -0.3 | 1.7 | -27.5 | 5.3 |
| 合計 | 5,751 | 2,602 | 850 | 2,299 | 5,916 | 2,672 | 873 | 2,371 | 2.9 | 2.7 | 2.7 | 3.1 |

地方では、チェンマイ、ナコンパトム、プーケットの店舗数が大幅に増加。

地方で増加数が多かったのは、チェンマイ（前年比 23 店舗増の 280 店舗）、ナコンパトム（同 15 店舗増の 104 店舗）、プーケット（同 11 店舗増の 142 店舗）。2020 年以降は、全ての県で日本食レストランが営業されており、タイ全土に日本食が普及している。

レストラン間の競争が激化。本物志向や新しい食のトレンドを求めるタイ人も増加。

日本食レストランを含むレストラン業界全体の競争が激化している。関係者からのヒアリングによると、日本食は長年タイで提供されタイ人消費者にすでに定着していることから、引き続き日本食は求められるものの、訪日タイ人が増えること等により、タイ人の日本食に対する経験および知識が増え、これまで以上に本物の日本食や日本の食のトレンドを求める消費者が増える傾向にある。

日本食レストランは、日本の食文化を世界へ発信するだけでなく、日本からの農林水産物・食品の輸出拡大に資することで日本の生産者や製造者にとっても重要な存在である。JETRO バンコク事務所の黒田所長は、「日本からの輸出を今後更に増やしていくためには、都市部における本物志向のタイ人のニーズを満たすこと、地方においてはまだ知られていない日本食や日本産食品への知識を向上させること、更にタイを訪れる外国人観光客にも日本の食材を知ってもらえる機会を創出していくことも重要」と話す。

JETRO は今年度、タイ全土で商談会・プロモーションイベントを展開している。プロモーションイベントについては、10 月からはタイ全土で [JAPAN Premium Food]（邦訳：本物の日本のおいしさを体験）と題した日本産食品のプロモーションを展開している。商談会については、9 月にプーケット県、11 月にチェンマイ県で商談会を開催したほか、2 月にはバンコクで対面式の商談会を開催する予定。日本産食品のタイへの輸出・販路拡大を加速化するため、JETRO は取組を強化していく予定。

（資料掲載 URL） <https://www.jetro.go.jp/thailand/>

【2024 年度のジェトロ主催イベント一覧】

| 日時・場所 | イベント名 | イベント概要 |
|------------------------------|--|--|
| 2024 年 10 月上旬～2 月 16 日(日) | 「[JAPAN Premium Food] （邦 訳：本物の日本のおいしさを体 験）」 日本産食材サポーター店事業 | チェンマイ・コーンケン両県及びその 周辺県の飲食店・小売店（日本産食材サ ポーター店）と共に、日本産食材を活用 したメニュー・商品を提供し、日本産食 材 PR を行う。 |
| | 「[JAPAN Premium Food] （邦 訳：本物の日本のおいしさを体 験）」 日本産食品の新規市場開拓事業 | <u>PR キャンペーン：</u> 和牛などの日本産食品（水産物除く）を 活用したメニュー・商品に関する店頭/店 内広告など、日本産食品（水産物除く） の品質や魅力を一般消費者に紹介すると ともに、飲食店や小売りブランドでの継 続的な取り扱いに繋げていく。 <u>PR イベント：</u> 和牛や日本の調味料などの日本産食品（水 産物除く）を活用した懐石料理の作り方 を来場するレストランオーナーなどに向 けてシェフが教えるイベントなど、一般 消費者だけではなく、飲食店関係者やシェ フなど日本産食品の継続的な活用につ ながる者を招待する。 |
| | 「[JAPAN Premium Food] （邦 訳：本物の日本のおいしさを体 験）」 日本産水産物の新規市場開拓事業 | <u>PR キャンペーン：</u> ホタテ等の日本産水産物を活用したメニ ュー・商品に関する小売店での催事や SNS への投稿など、ホタテ等の日本産水 産物の品質や魅力を一般消費者に紹介す るとともに、飲食店や小売りブランドで の継続的な取り扱いに繋げていく。 <u>PR イベント：</u> ホタテやマグロなどの日本水産物関連商 品を会場に展示し、来場する飲食店に向 けて商品の知識を提供するイベントなど 小売店等において、ホタテ等の日本産水 産物の新たな需要創出・販売拡大につな がる PR イベントを実施する。 |

| | | |
|---|---|--|
| 2024 年 9 月 25 日(水)・ 26 日(木) 10:00～17:00 於 : Courtyard by Marriott Phuket Town | Harmony of Tastes: JAPAN Food on Tour 2024 in Phuket | 地方商談会の開催 ・ 出展者：日本産食品を扱う在バンコク の輸入業者等 28 社 ・ バイヤー：プーケット及びその周辺の リゾートホテル、小売店、飲食店等 |
| 2024 年 11 月 27 日(水)・ 28 日(木) 11:00～17:00 於 : Chiangmai Grandview Hotel & Convention Center | Business Matching & Showcase of JAPAN Premium Food 2024 in Chiang Mai | 地方商談会の開催 ・ 出展者：日本産食品を扱う在バンコク の輸入業者等約 29 社 ・ バイヤー：チェンマイ及びその周辺 のリゾートホテル、小売店、飲食店 等 |
| 2025 年 2 月 5 日(水)・6 日(木) 於 : Hilton Bangkok Grande Asoke, Grand Ballroom | JETRO Food Matching & Exhibition in Bangkok 2024 (対面方式) | バンコク商談会 ・ 出展者：これまでタイで輸入業者が決 まっていない商品等を取り扱う日本 側出品者 ・ バイヤー：日本産食品を扱う在タイの 輸入業者等 |
| 2025 年 2 月 25 日 (火) ～27 日 (木) | JETRO Food Matching & Exhibition in Bangkok 2024 (オンライン) | オンライン商談会 ・ 出展者：これまでタイで輸入業者が決 まっていない商品等を取り扱う日本 側出品者 ・ バイヤー：日本産食品を扱う在タイの 輸入業者等 |

お問い合わせ先

JETRO バンコク事務所 農林水産・食品部

Yoshinari SUDA / Yoshihiro CHUDA / Yuki MURAKAMI (日本語・英語)

Ms.Chutima (タイ語・英語)

電話番号 02-253-6441

E-mail bgk-food@jetro.go.jp